



組合員皆様の保養所 *Sakura Resort Hotel Ishigaki*
さくらリゾートホテル石垣

社内研修や記念旅行、
永年勤続・優績者への表彰制度に……
日本最南端の楽園「石垣島」で
くつろぎの時間をお過ごしください。

組合員様ご利用室料を下記の通りとさせていただきます。

客室料金 (税込)	区分	料金	→	繁忙期間中
	Aタイプ(2人)	9,600円		14,400円
	Bタイプ(2人)	14,400円		21,600円
	ロフトなど(1人)	2,500円		4,000円
	Aタイプ(1人)	7,800円		11,700円
	Bタイプ(1人)	12,600円		18,900円
	割増料金(1人)	1,000円 (土曜・日曜・祝日の前日が対象)		—

※割増料金は通常価格が対象となります。繁忙期価格は対象となりません。

繁忙期間	ゴールデンウィーク	令和8年5月1日(金)～5月10日(日)10日間
------	-----------	--------------------------

申込受付は、利用希望日の3ヶ月前からとなっております。

宿泊の取消は、その連絡日より以下のキャンセル料を申し受けます。

宿泊当日及び宿泊前日 100%/宿泊2日～4日前 60%/宿泊5日～7日前 30%/宿泊8日～21日前 10%

※近日中に設備の大規模修繕を予定しており、工事日程によっては休館になる場合がございますのでご了承下さい。

レンタカーで 石垣島を満喫!

石垣観光で川平湾や石垣島鍾乳洞など
お気軽にドライブをエンジョイしませんか!

組合員格安プラン 【コンパクトカー・1日】

繁忙期(年末年始
7月・8月) **7,700円～**(税込)

通常期(上期以外) **6,600円～**(税込)



Association NEWS

組合だより

令和8年4月16日発行

【発行者】

道央情報サービス協同組合

北海道
本部

札幌市中央区南3条東4丁目3-6 さくら総合会計第2ビル
TEL:011-242-4006 FAX:011-242-4388

東京本部

東京都港区浜松町1丁目24-8 オリックス浜松町ビル6階
TEL:03-3437-1237 FAX:03-6809-1163

アソシエーションニュース

Association NEWS

道央情報サービス協同組合

組合だより

2026

4月号

季刊



CONTENTS

- ETCコーポレートカード(車両限定)は「カード券面記載の車両」でご利用ください!
- 組合員ペンリレー【Rana株式会社】
- 運輸支局等での「自動車検査証記録事項」の発行が終了しました～車検証電子化～
- キャンピングカーのお貸出しを再開します
- 少額減価償却資産の特例について
- 名車ファイル vol.36

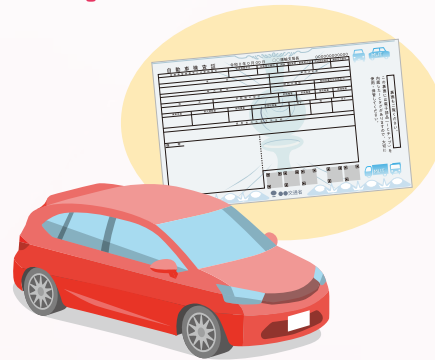
DOUOU JIYOU Service Cooperative

①

運輸支局等での 「自動車検査証記録事項」の発行が終了しました 車検証電子化

自動車検査証は、2023年1月に電子化され「電子車検証」になりました。電子化以降、有効期限など電子車検証の券面に記載のない事項を確認できるように、電子車検証の交付・更新時に「自動車検査証記録事項」が運輸支局等の窓口で発行されていましたが、2025年12月末をもって終了致しました。（電子車検証の券面の記載事項に変更のない手続きの場合。それ以外の手続きについても2027年12月末で配布終了の予定です。）

※運輸支局等での発行が終了して間もない現在では、自動車ディーラーや中古車店・整備工場等の事業者がアプリを用いて印刷し配布するケースが多いようですが、今後運輸支局等の方針に沿って配布を取りやめる事業者が増える可能性があります。



🔍 新車購入・車検更新時等に自動車検査証記録事項が発行されなかった場合、自身で発行する方法は？

① 運輸支局等の窓口付近に設置された端末で印刷する。

※2027年12月末で設置終了予定。

② 「車検証閲覧アプリ」をダウンロードしてPDFデータをダウンロードする。

※スマートフォン、PCで使用する場合はICカードリーダーが必要になります。

※車検証閲覧アプリでは、自動車検査証記録事項のPDFデータ取得の他、車検証情報の確認、車検証情報以外の情報（リコール情報等）の確認等も可能になります。



⚠️ ご注意下さい！

電子車検証は、コピーを組合に送付いた
だいても組合で自動車検査証記録事項
を出力することはできません。
ETCカードの申請（追加申込や入替等）に
は必ず組合員様ご自身で自動車検査証記
録事項を発行した上で申請してください。

電子車検証や車検証閲覧アプリの
詳細については、国土交通省の「電
子車検証特設サイト」が開設されてい
ます。以下のURLをご覧ください。

電子車検証特設サイト

<https://www.denshishakensho-portal.mlit.go.jp/>



自動車検査証記録事項は、組合へETCカードの申請をいただく際に必ず必要になります。

自動車検査証記録事項が配布されなくなる事態に備えて、車検証閲覧アプリの準備をお勧めします。

（エス・バイ・エス事業協同組合 高橋 尚志）

キャンピングカーの お貸出しを再開します

北海道の厳しい冬も終わり、今年もまたアウトドアシーズンがやってまいりました。組合では、車両不具合のためお貸出しを中止しておりましたキャンピングカーのお貸出しを今春より再開いたします。

年式が古い車両（1999年6月登録）のため、エンジンオイルが通常より早く減ることがございますが、お貸出しの際に都度点検・補充してお貸出しいたします。

さわやかな新緑の季節、ご家族やご友人、時には会社の仲間と連れ立って、おいしいグルメや自然に触れ合う旅をしてみませんか。広大な北海道の大地を組合のキャンピングカーで満喫しましょう。



トヨタコースター

小型バス・トヨタコースターをベースに改装したキャンピングカーです。AT車で運転も快適、乗車定員10名、準中型免許以上での運転が可能です。

室内の装備

ガスコンロ、シンク、シャワーなど充実装備を搭載。シートをフラットにすることで6名が就寝でき、ワンファミリー以上でのご利用が可能です。



組合員価格5,000円～

※平日1泊2日・・・基本料金(2,600円) + 清掃料金(1,650円) + 保険料(750円)=5,000円

料金表 (税込)			
料金区分	項目	組合員価格	市場価格(参考)
基本料金	平日1泊2日(400km)	2,600円	22,000円～38,500円
	休日1泊2日(400km)	3,300円	
延長料金	平日1泊延長(200km)	1,100円	22,000円～38,500円
	休日1泊延長(200km)	1,650円	
別途料金	清掃料金	1,650円	—
	保険料	750円	—

※万が一、エンジンオイル警告灯が点灯した場合は、最寄りのSS等でオイルを補充してください。

※多数の組合員の皆様に快適にご利用いただくため、釣り会・ペット同伴でのご利用はご遠慮いただいております。また、トイレの備え付けはございません。※貸渡しは9時以降、返却は17時までとなります。規定の距離・時間を超過した場合は別途料金をいただきます。

（エス・バイ・エス事業協同組合 高橋 尚志）

少額減価償却資産の特例について

— 決算前にもう一度確認したいポイント —

中小企業の決算対策として活用されている「少額減価償却資産の特例」は、**令和8年3月31日までに取得し、事業の用に供した資産が対象となります**。3月決算の法人にとっては、今が最終確認の時期です。本特例は、中小企業者等が取得価額30万円未満の減価償却資産を取得した場合に、一定の要件のもとで**取得価額の全額を当期の損金に算入できる制度**です。

1 概要と適用要件

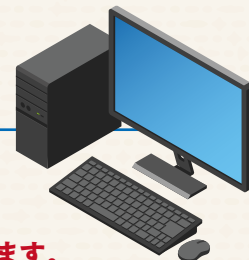
対象となるのは、青色申告を行う中小企業者等*です。

取得価額が**30万円未満**の減価償却資産が対象となります。

対象資産には、器具備品や機械装置のほか、**ソフトウェアなどの無形固定資産も含まれます**。

中古資産も対象となります。ただし、1事業年度に適用できる取得価額の合計は**300万円が限度**です。

※資本金1億円以下で、常時使用する従業員数が500人以下（一定の法人は300人以下）の法人等及び個人事業者（常時使用する従業員数が1,000人以下）が対象です。



2 注意点

✓ 「取得」だけでなく「事業供用」が必要

決算日までに実際に使用を開始していることが条件です。

✓ 他制度との重複適用は不可

特別償却・税額控除・一括償却資産との併用はできません。

✓ 貸付目的資産は対象外

令和4年4月1日以後取得分は、主要な事業として行う場合を除き、貸付用資産は対象外です。

3 今後の税制改正の動きについて

令和8年度税制改正大綱(令和7年12月26日閣議決定)では、少額減価償却資産の特例について、対象となる取得価額を40万円未満(現行:30万円未満)に引き上げる方向性が示されています。ただし、現時点で適用されるのは30万円未満の現行制度です。

おわりに

3月決算の法人においては、これから取得を検討している設備やソフトウェアについて、この特例が使えるかどうかを一度整理しておくことが重要です。取得価額や使用開始日、年間300万円の限度額などを事前に確認することで、決算後の修正やトラブルを防ぐことができます。制度の適用可否や処理方法についてご不明な点がございましたら、担当者までお気軽にご相談ください。



三菱ふそう T620・T622・T624D・T630

【1964年～1970年】

4t積み中型トラック市場を切り開いた物流の革命児



写真は
T620型
標準ボディー

1960年代当時、三菱自動車は2トン積み小型トラックと6トン以上の大型トラックの間を埋めることで、トヨタ、日産との競合を避ける戦略をとり、水島製作所において2.5から3トン積みのボンネット型の「ジュピター」を製造・販売、バリエーションを増やしていました。しかし、すでにボンネット型トラックの時代は終焉を迎えており、1964年に「ジュピター」を「T30」にモデルチェンジ、さらにキャブオーバー型の「T40」を登場させるも販売は1万台と伸び悩みます。

三菱自動車の中型トラックの中心となったのは、「ふそうT620」でした。この企画は、1955年と早かったが、「ふそう」は小型キャブオーバートラック「キャンター」の開発を優先したことから、試作車ができたのは1961年でした。当初のエンジンは「キャンター」の4気筒エンジンが高性能であったことから、このエンジンを6気筒化した「6DQ型」3000cc・102馬力を搭載しました。しかし、長距離走行を想定した4トントラックには小排気量かつ回転で馬力を稼ぐエンジンはふさわしくないとのことで、試作段階で棚上げにした「XG型」エンジンをボアアップした直列6気筒「6DS1型」4,678 cc・110馬力に換装し1964年、満を持して発売にこぎつけました。

「ふそうT610」は普通免許で運転できる最大の積載量・荷台長であったことで発売以来わずか2年7ヶ月で国内販売累計2万台を突破し、大ヒットとなります。乗車定員が3名となっていること及びオーバードライブがついて小回りが効き、荷台が低く荷物の積み下ろしが楽であることが好評でした。その後、三菱自動車は「ジュピター」製造を「ふそうグループ」に変更することで「ふそうファミリー」とし、小型車の「キャンター」の生産を水島製作所に移管し、中型・大型は「ふそう」とする体制を確立。中型トラック市場を独走することとなります。1969年には日野自動車が積載量を4.5トンに増やしたトラックを投入してきたことから、「ふそう」も4.5トン積みの長尺荷台をバリエーションに加えた「T630型」を投入しシリーズの充実化が図られました。1970年代には各社が4トントラック市場に参入することで、このクラスでシェア50%を誇っていた「T630」もシェアを他社に奪われて行きますが、「ふそう4トントラック」は「T650」に発展し「FK」となり、「ふそうファイターシリーズ」の中核として発展して行きます。

4トントラック市場を開拓し時代を駆け抜けた「T620」の止まりそうで止まらない、独自のアイドリング音はプロドライバーの記憶の中で今でも懐かしく鳴り響いているのではないのでしょうか。